



大地をはねて
 跳ぶ
 跳ぶ
 軽ろやかに
 リズムにのって
 跳ぶ
 跳ぶ
 跳ぶ
 岡小の森がおどる
 校舎も体育館も
 リズムに合わせておどる

昭和54年3月1日編集発行 / 岡崎市教育委員会



(大地をはねて—岡崎小)

— 教育随想 —

学校の母性化に思う

木村 篤治



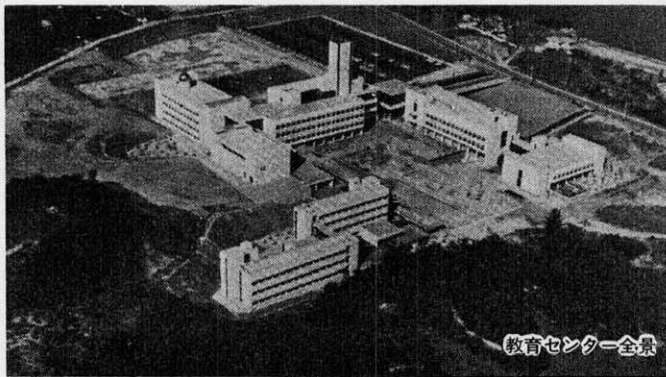
近頃の学校は母性化してはいないだろうか。戦後学校に女子教員が逐年増加し、いまや、小学校で三〇%を占めるに至った。

学校の母性化とは、こうした女子教員の数を言っているのではない。それは、優しき、楽しき、甘えという今の学校がもっているムードを指摘しているのである。

優しい先生、物わかりの良い先生、なんでも聞いてくれる先生、厳しく叱りつけない先生、こういう先生に人気が集まり、そういう先生が良い先生と慕われる風潮がありはしないか。つまり優しいという言葉に代表される甘いムード、抱きかかえる、包みこむ、助けてくれる、与えてくれる、という母性本能的なものが期待される体質がありはしないか。

次に、やたら楽しさが強調されている。楽しい学校、楽しい授業、楽しい学級づくり等々、一体学校とは何なのか。それは子供を一人前に鍛えあげ、人間をつくる修業の場ではないか。そうとすれば、もっと、人間に育てあげるといふ厳しさと気迫があってもいいではないか。学校がマンガやテレビドラマの様に楽しさだけを売りものにしていいのだろうか。

最近、青少年の非行、犯罪が特に目立っている。彼等の根元にあるのは甘えの思想である。どうせ大した罪にはなりはしない。一寸スリルを楽しんだだけ。私ばかりでない皆さんがやっている。優しい先生だものきつと助けてくれるワ。という高をくくった甘えの論理と思想がある。



しく、シラケタ者が多いといわれる。それは、優しき、楽しき、甘えの三つのムードに象徴される学校や社会の母性化に一因があるようだ。そう言えば、広瀬中佐、爆弾三勇士、二宮金次郎の英雄や偉人の銅像に代って、女性のヌード像が立てられ、男らしさから女らしき、厳しきから優しきが尊ばれる時代になった。戦後三十余年、日本の教育は、学校は、このままの姿で良いのだろうか。

(愛知県教育センター所長)

某校某日

竹ぼうき作り

小林 春海

「ベンチー。ベンチどこ?」
「ここおさえていて。ほら、もつとしっかり。」

「おじさん、こんなふうでいい。」
「そうそう、じょうずにできてるね。ここは、この方がいいかな。」

去る一月二十日(土)の午後、校庭に響きわたる様々な声。これは、本校で毎年行われている「竹ぼうきを作る会」の一面面である。

学区のお年寄りの方々の指導のもとに、三年生以上の児童四十名が四人一組になり、各組十本を目標に、にぎやかにぼうき作りが始められた。三、四年生は、学区の人たちから贈られた竹の材料を、同じ長さに切りそろえたり、針金を用意したり、上級生の助手的役割として大いに活躍。五、六年生は回を重ねるうちに、だいぶ慣れてはきたものの、なかなか思うようにはいかない。それでも四苦八苦しながら、一本のぼうきにまとめ上げていた。

ふるさとの自然



雑草は語る

美しい花、珍しい花といわれているものは、よく目立つものをさしている場合が多いものです。

しかし、目立たないところにも心をこめられる美しいものがあることを忘れないでいただきたいものです。路傍の雑草も調べてみると、調べるほど、私たちに自然の不思議さ、神秘さを教えてくれます。

しかし、矢作川や菅生川を始め各水路の堤防や農道の雑草を眺めてみると、最近の農薬の発達、農作業のし方の変化、輸入物質の多様化により、旧来からなじみ深い雑草が、セイダカアワダチソウ、ヒメジオン等の帰化植物の激しい繁殖力に押され、その種類や個体数に大きな変化がみられています。

ここで早春になじみ深い雑草の一句を紹介しましょう。

土筆——つくしんぼ・つくづくし

土筆煮て飯くう夜の台所、正岡子規
荒地や土手などに、うす花色の茎をピ

ヨコビヨコ出したツクシを見ると、ほんとうに春が来たなという気がします。

この姿をみかけると摘みたくなるもので、手が胞子で黄色くなるまでつんだものです。しかし、胞子を虫メガネでみると、もつとおもしろいもので、胞子のフオーダンスが見られます。意地悪に口で息をかけてやるとやめてしまいます。

なお、つくしの袴は葉が変わったものです。また、地下茎のところでどこに黒い玉がみつかります。あれは本年、芽を出すための養分の貯蔵庫です。

蒲公英——たんぼ、鼓草

たんぼばや折々さます蝶の夢、千代女の春の野外で黄色の花が目立つ一つです。タンポポの花は黄色の花と思つていいる人が多いと思いますが、最近ではヨーロッパから帰化したセイヨウタンポポなどで白色の花をつけているものが多くなりました。

花は頭状花序で、外がわから内がわに順々に毎日少しずつ咲いていきます。雨の日や夜、閉じることも、花が済んで、果実になると、冠毛をつけて飛び回ることもタンポポの風物誌の一つです。

鶏腸——はこべら、みきくさ

石垣にはこべの花や橋普請、永井荷風春の七草の一つで、路傍いたるところでみかけます。茎は緑色で、茎の一方だけ白い毛が普んで生えています。実が熟すると、ふたたび立ちあがる面白いくせをもっています。

若い茎や葉はゆでて食べると胃腸薬に

なります。昔「ハコベ塩」と言つて、火で焼いて粉とし、塩をまぜてつくり、歯みがきに使つたそうです。最近の葉緑素入りの歯みがき粉はここからでたのではないのでしょうか。

ここで、春の七草を、覚えやすい歌で紹介しましょう。

芹・なづな・御形・はこべら・仏の座
すずな・すずしろ・これぞ七草

蓬——餅草、も草

おらが世やそこの草も餅になる一茶
昔は、あの独特な香りのするもくさ餅を楽しんで食べたものです。

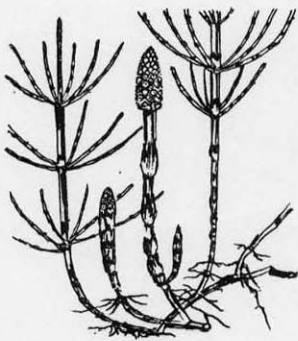
早春の新芽が特にやわらかく、香りがあり、摘み草としてとつたものです。

これは多年生草木ですが、葉は暑くなるほどこわくなります。

また、花は頭状花序で、夏に咲きますが、ちっともきれいではありません。

(城北中 杉浦利兵衛)

完



お年寄りたちの温かい心づかいにより各組八十本のほうきを作り上げることができた。この苦労によって、一本のほうきでも大切に扱うことを知つただろう。(常南小)

どべ競い

山本利春

校内マラソン大会が好天に恵まれて終つて職員室での会話

「Kは走つた後、手が真黄色だったよ。大丈夫かな。」

「あのやせぎすの体でね。」

「Sもかせひいて、保健室で寝ると思つたら、一番で走ってくるじやないか。」

「びっくりするよ。三組は張り切つていいるぞ。」

本年度の学級対抗種目はこれで最後、

「やっぱり七組は予想だけだね。」

「七組を一位に投票せんでよかったよ。」

「七組の男子はどべ競いをしとつたのがいたぞ。」

「がんばつたのはOだけか。最近肥えてきて走れんと思つたんだが。」

今までの学級対抗の職員室での下馬評では、いつもわが七組は上位にランクされる。しかし、水泳大会を始め、体育大会でも、バスケットボール大会でも、結果は担任の切ない期待を裏切つてばかりいた。

今年のクラスは元気がいいのが取り得と思つていたのだが、もう一つままとまり

がほしいのかなあ。(矢作中)

充実する教育施設

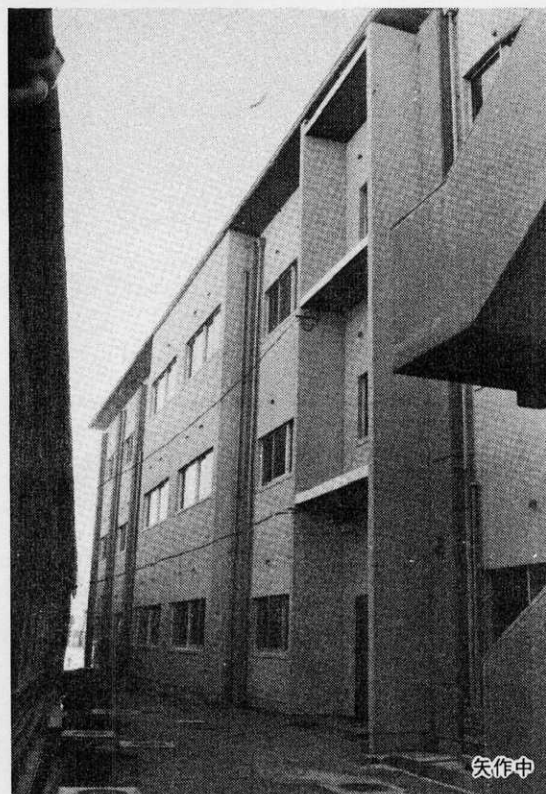


城南小

内田市長、市当局の多大のご好意により、岡崎の教育施設の整備は大きく前進をしている。特に、学級増によるプレハブ教室は、三か年計画で全面解消が図られ、これが重点の施策とされている。

この間、小中併せて二十一校の増改策が行われる。また、屋内運動場やプールの建設と、体育施設のいつそうの充実も進んでいる。

五十三年度には小中十六校の校舎増築、五校の屋内運動場、二校のプール新設があり、一校に低学年用プールが完成した。



矢作中



梅園小



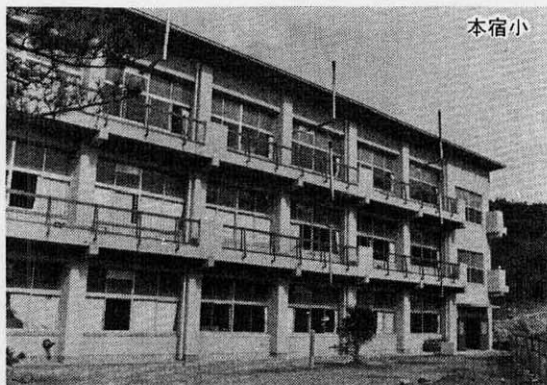
竜谷小



南中



細川小



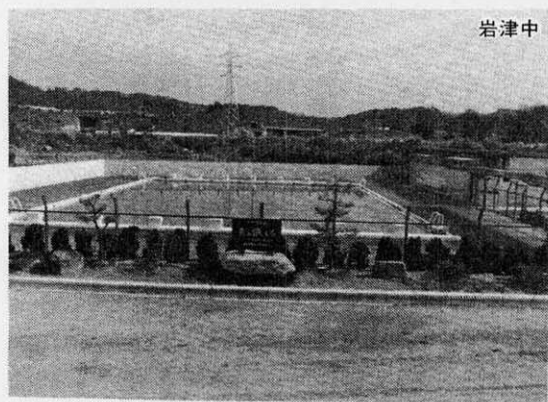
本宿小



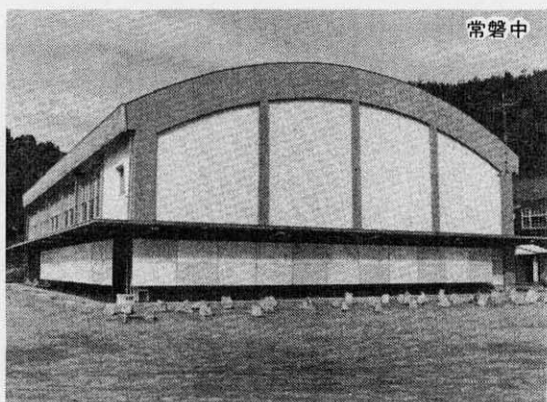
矢作西小



六ツ美北小



岩津中



常磐中

教育委員会賞

●個人研究の部

| 学校名 | 氏名 | 主 題 |
|------|-------|-------------------------------------|
| 美合小 | 後藤 弘 | ひとりひとりの読みを育てる指導—4年鳥の生活を通して— |
| 緑丘小 | 島田成子 | 生きた表現をめざす作文指導—日記を中心とした指導の実践— |
| 連尺小 | 杉浦博司 | 表現活動を生かした主体的な読みの授業 |
| 愛宕小 | 小幡まさ | 作文指導三年間 |
| 根石小 | 佐々木俊輔 | 観察を軸とした「地域学習」の実践 |
| 三島小 | 中根恒夫 | 資料を効果的に生かした楽しい社会科の授業実践 |
| 奥殿小 | 杉浦絃子 | 低学年における絵地図指導—学校のきんじょ— |
| 葵 中 | 平野有行 | 学ぶ楽しさの生まれる社会科の学習指導—わかる学習の追求を通して— |
| 六ッ美中 | 杉浦健支 | 反省を生かした「主体的な社会学習」の実践 |
| 大門小 | 中川朗子 | 思考のつながりを大切にした算数科指導 |
| 六南小 | 江村力 | 操作に重点をおいた算数指導—ピアジェの操作をとりあげて— |
| 緑丘小 | 伊藤朋子 | 新しい理科の場づくり—1年「いしころ」を通して— |
| 連尺小 | 長谷川四郎 | 表現力を高める実践指導—創作を中心として— |
| 城北中 | 小田紀夫 | 自主学習における表現活動の深まりを求めて |
| 井田小 | 鈴木勘三 | 全校皆泳をめざす水泳指導—一個を見つめ、泳ぎの本質を求めて— |
| 美川中 | 鴨下智幸 | ひとりひとりが主体的に取り組み体育学習—3年男子持久走の指導を通して— |
| 竜美丘小 | 金子一元 | 1年生の学級づくりの展開—「学級通信」と「一校文集」の営みを通して— |
| 矢作東小 | 後藤マツエ | 子どもたちが生きる学習集団づくり |
| 六南小 | 岡本孝幸 | 学級づくりの記録—生き生きとした学級を求めて— |
| 東海中 | 河村喜美 | 学級通信を軸にした私の学級づくり—2年間のあゆみ— |
| 六南小 | 鳥居陽子 | 性教育の第一歩 |
| 常磐小 | 近藤克子 | 自閉症児M君の指導 |

●共同研究の部

| | | |
|------|---------------------|--|
| 美合小 | ◎ 高学年部会 ◎ 鈴木松三 | 考えや感想を分かちあうひとり読み、なかま読みのあり方 |
| 山中小 | ◎ 低学年部会 ◎ 片山美恵子 | 書きたい気持ちを大切に作文指導—入門期作文指導の試み— |
| 矢作東小 | ◎ 一年部会 ◎ 安藤千寿枝 | 楽しい算数指導—操作活動を通して— |
| 甲山中 | ◎ 教 学 部 ◎ 岡安信彦 | ひとりひとりを生かす教学教育 |
| 葵 中 | ◎ 数 学 部 ◎ 内藤広光 | ひとりひとりを生かす授業 |
| 竜美丘小 | ◎ 理 科 部 ◎ 中垣 劍 | 確かな観察に根ざした豊かな人間性の育成—記録を生かした理科学習の展開— |
| 矢作中 | ◎ 理 科 部 ◎ 岩瀬信子 | 魅いる学習をめざして—できる理科学習— |
| 三島小 | ◎ 現職教育部 ◎ 録須賀久 | 総則体育の実現をめざして—青空タイム伸よし集会を中心にして— |
| 矢作中 | ◎ 技 家 部 ◎ 名倉昭人 | できる学習の研究と実践—楽しさ、喜びを求める授業— |
| 美川中 | ◎ 英 語 部 ◎ 加藤忠彦 | 聴き取り能力の育成—T V番組視聴4年間の実践— |
| 根石小 | ◎ 六 年 部 会 ◎ 石川 貴 | 好ましい児童集団の形成をめざして |
| 藤川小 | ◎ 学校図書館部 ◎ 山本宣平 | 資料を活用した社会科授業実践と、それに対応する図書館づくりによる生涯教育への芽生えをめざして |
| 緑丘小 | ◎ 岸田達夫 | みどりの譜—学校づくりの道程— |

個 238 個 73
 応募教 425 共 73 共 40 1

努 力 賞

●個人研究の部

| | | | |
|------|-------|------|--------|
| 井田小 | 鈴木幸子 | 梅園小 | 鈴木幸子 |
| 愛宕小 | 中川稲三郎 | 井田小 | 高村むつみ |
| 竜谷小 | 松崎 稔 | 常磐中 | 早川円浄 |
| 本宿小 | 小栗春枝 | 梅園小 | 飯見紀男 |
| 生平小 | 稲葉道彦 | 三島小 | 藤井明美 |
| 矢作南小 | 足立道子 | 甲山中 | 蜂須賀千代子 |
| 岩津中 | 中尾 劍一 | 岩津中 | 深津吉堯 |
| 本宿小 | 加藤貞子 | 六ッ美中 | 佐々木人美 |
| 本宿小 | 佐野真美 | 愛宕小 | 杉山久男 |
| 大樹寺小 | 小出 明 | 羽根小 | 吉川 勇子 |
| 〃 | 小早川幸枝 | 福岡小 | 野々山宣子 |
| 矢作北小 | 條田英昭 | 奥殿小 | 和田 健 |
| 羽根小 | 細井義雄 | 矢作南小 | 加藤博史 |
| 福岡小 | 権田隆志 | 秦梨小 | 大須賀紀子 |
| 大樹寺小 | 杉山隆之 | 美川中 | 鈴木 忍 |
| 矢作東小 | 柴田安則 | 連尺小 | 山下八重 |
| 岩津中 | 平岩 昭 | 愛宕小 | 稲垣房子 |
| 男川小 | 加藤 栄 | 〃 | 白井正壮 |
| 本宿小 | 早川正己 | 美合小 | 岩月 勲 |
| 大樹寺小 | 稲垣正美 | 矢作南小 | 鶴居宗一 |
| 大門小 | 石井 明 | 愛宕小 | 山本禎夫 |
| 六ッ美中 | 市川直昭 | 六ッ美中 | 岡田 豊 |

●共同研究の部

| | | | |
|-----|-------|------|---------------|
| 美合小 | 三年部会 | 竜海中 | 理科部会 |
| 〃 | 低学年部会 | 城北中 | 理科部会 |
| 山中小 | 三年部会 | 三島小 | 体育部会 |
| 葵 中 | 国語部会 | 福岡小 | 低学年部会 |
| 矢作中 | 国語部会 | 矢作中 | 体育部会 |
| 南 中 | 社会科部会 | 葵 中 | 村田羽衣弘 畔柳正弘 |
| 葵 中 | 社会科部会 | 根石小 | 二年部会 |
| 矢作中 | 社会科部会 | 大門小 | 石川昌宏 石川 朗 |
| 竜谷小 | 算数部会 | 矢作西小 | 低学年部会 |
| 細川小 | 算数部会 | 連尺小 | 現職教育部会 |
| 六北小 | 算数部会 | 甲山中 | 現職教育部会 |

教育日々



帰りの会異聞

奥殿小 杉浦絃子

「〇〇君がたいた。」
「××ちゃんがいじわるした。」

日に五、六度ならがまんもし、やさしく接することもできるが、丸一日続くとはや限界。「けんかばかりして。」と六才の子どもであることも忘れ、顔をまっかにして八つ当たり。

集団は個の集まりである。しかし、集団意識に目ざめていない一年生は個の集まりであって個の集まりにはならない。

なんとかしなければと、四月下旬、下校前に帰りの会を設けた。すると、出る、出る。不満や訴えばかりである。どんなささいなことでも(教師にとっての)黙って聞いてやり、押しつけの結論を出さないように、「みんなは、どう思うの。」と投げ返してやった。すると、しだいに話し

合いらしくなっていた。

二学期、夏休みの報告をさせたのを機会に、「うれしかったこと」も話すようになった。また、グループ活動をさせるようになると、係り活動も生まれ、「係さんから」や「係りさんへ」も加わり、帰りの会を変えていった。

三学期、帰りの会がどうも重苦しい。楽しい会にしようと言ったら、月曜日のお話、水曜日はクイズ、金曜日にはゲームが加わった。

もちろん、まだ主流は生活の中から生まれるまざつであるが、毎日毎日こころしい帰りの会を続けているうちに、集団としての約束ごとや考え方がつかわれていく。

そしてある日、

日直 「係りさんからありませんか。」

つきや 「今から、一月中旬に一番、机の中がきれいだった人」に賞状を上げます。」

と拍手の中で表彰式が始まる。しばらくして……

つきや 「先生！」

つきや 「なあに。」

つきや 「先生の机の中が一番きれいなから気をつけて下さい。」

「……………はい。」

Y男とマット

三島小 山田賛平

体操演技といえはオリンピックでも花形の種目で、均整のとれた体つき、すばらしい筋力と柔らかさ。とても人間技とは思えないような演技に私たちは酔ってしまふ。

ある競技会の模様がテレビで放映された。いい気分で見ているうちに、きょうの体育時間のマット運動を思い出してしまつた。きょうの授業は「腕立て前転」

だった。その運動にY男がいつもお尻をぶっていた。

「先生、お尻が痛くてたまらんですよ。」

「それで痛くなかったらどうかしているぞ。」

と、みんなから冷やかされていたことを。

放映されている演技くらいに飛んだり撥ねたりできたら、と思うのは無理な話だが、何とか理想の形に近づけた。

幸い三島小では体育の研究を進めており、マット運動は特に力を入れている種目の一つになっている。

テレビを観終つてから、マット運動のでだてを調べているうち、先ほどの興奮も収まつてきた。お尻をぶたないようにさせよう。ぶつてもひどくぶたないようにしてやろう。と、いくつかのでだての中から柔軟体操を選んだ。次の体育時間にはこれをしつかりやろう。いや、その時間だけでは効果はでないから宿題にしたら……。特に「ひざつきブリッジ」を三日間くらいやらせてみようか。

翌日、子どもたちに「柔軟体操の中のひざつきブリッジができるように。これは土曜日の体育の時間までの宿題に



する。できる子も、できない子も、寝る前に十分間やりなさい。」といい渡した。すでに七割ほどの子どもはできるのだが、あえて宿題とした。

さて当日、調べたところ、九割ほどの子がやれるようになっていた。「よし、これならいけるぞ」と意気込んで、マット運動をはじめた。お尻ばかりぶつていたY男も

「きょうは尻が痛くないぞ。」と、何回もやっている。タイミンクが合つてきて、スムーズになつた。

「Y男、うまくなったなあ。」声をかけたたん、Y男の顔は喜色満面となつた。それがいつまでも印象に残つた。

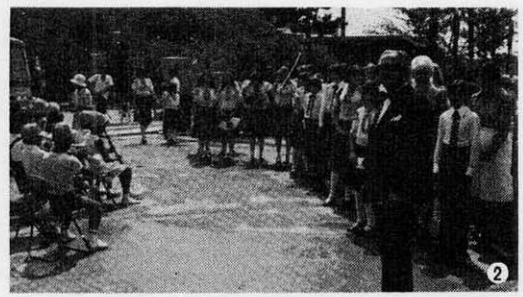
一年のあゆみ



①ウッデバラ市民代表来岡

姉妹都市提携十周年を記念して、スウェーデン・ウッデバラ市から三名の使節団が来岡し、大樹寺小学校や甲山中学校を訪問する。一行は、岡崎市の教育に対する情熱に驚いた様子だった。
(八月四日)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|------------------------|------------|---------------|-------------|------------------|--------------------|------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------|---------------------|------------------------|-----------------------|
| 9・1 | 8・11 | 8・10 | 8・5 | 8・1 | 7・23 | 7・7 | 7・1 | 6・23 | 5・21 | 5・13 | 5・5 | 4・28 | 4・11 | 4・1 |
| ブラハ少年少女合唱団三十二名が来岡し、市民会を自ぎして始動 | 岡崎教育史要(第三集)の編集が、五十五年刊行 | 中学校生徒会模擬議会 | 男子優勝井田、女子優勝根石 | 第十六回小学校水泳大会 | 現職教育各部の夏季実技講習始まる | ⑥9・17 都留 重人氏・日本の進路 | ⑤9・3 佐々木久子氏・旅に拾う | ④8・27 山田 無文氏・宗教とは何か | ③8・20 開高 健氏・未知の土地 | ②8・6 勝木 保次氏・人の脳における感覚のしくみ | ①7・23 上山 春平氏・家康論の視点 | 明日の岡崎を考える第五回市民大学の開講 | 小学校球技大会始まる | 男子優勝葵、女子優勝矢作、総合優勝葵 |
| | | | | | | | | | 「読みを作る指導」美合小研究発表 | 中学校市長杯総合体育大会始まる | 男子優勝葵、女子優勝矢作、総合優勝葵 | 第二十二回中学校総合体育大会 | 「甲山教育課程の創造」甲山中研究発表会 | 市制施行六十二年記念式典で三十四名が表彰 |
| | | | | | | | | | 野性鳥獣保護功労者表彰で東海中が環境庁長官賞を受賞 | 第五回岡崎子どもまつりを、菅生川右岸で | 調査統計表彰で、葵中が文部大臣賞を受賞 | 現職教育総会を南中で | 3・27から三日間、少年自然の家で自主新任研 | 一二四名の新採・転入教員を迎えて辞令伝達式 |

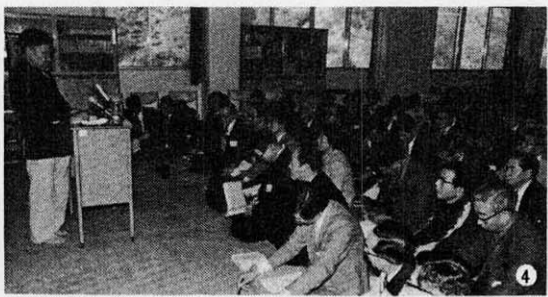


②ブラハ少年少女合唱団来岡

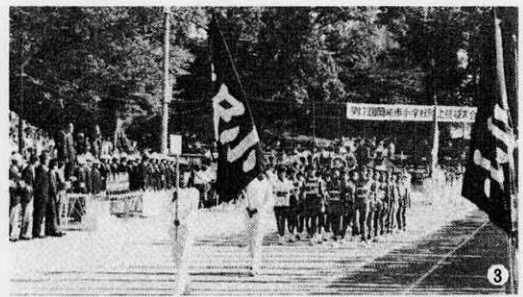
ドボルザークなど優れた作曲家を生んだチェコの中心都市プラハから合唱団が来岡。市民会館での公演に先立ち、竜美丘・岡崎の両小学校を訪問した。
(九月一日)

③第十七回小学校陸上競技大会
(十月二十九日)

④第五回冬季研修会
市外からも多くの参加者を集めて、少年自然の家で開く。若い教師の参加の多かったことも今年の特徴の一つ。



④



③



⑤ 相次ぐ緑化コンクール日本一

本年度も全国レベルの大賞受賞校が相次いだ。中でも、全日本学校緑化コンクールでは今年度愛宕小学校が受賞し、これで四十七年から本市小中学校が連続して受賞したことになる。

- ・ S 36 南 中学校
- ・ S 37 矢作南小学校
- ・ S 39 葵 中学校
- ・ S 43 美 川中学校
- ・ S 47 城 北中学校
- ・ S 48 井 田小学校
- ・ S 49 竜 海中学校
- ・ S 50 甲 山中学校
- ・ S 51 連 尺小学校
- ・ S 52 愛 宕小学校

9・9

館で市内小中学生とステージを共にする西部給食センターが完工し、これで小中学校の全てがセンターからの給食をとるようになる

9・23

NHK合唱コンクールで葵中全国大会へ「書く意欲を高め豊かな表現力を育てる作文指導」山中小研究発表会

9・29

愛知県花いっぱい優良小中学校コンクールで細川小、六ツ美北部小、葵中が受賞

10・10

第五回中学校技術家庭科作品展を体育館で二十五周年記念理科作品展を城北会館で「自然にひたる」をテーマとして開く。記念文集「岡崎の理科」を刊行

10・14

県健康教育優良校として秦梨小が表彰

10・17

「人間性豊かな子ども」羽根小教育実践報告会

10・27

第二十回中学校英語暗誦大会を竜海中で小学校陸上競技大会を岡崎公園グラウンドで

11・4

第一回おかざきまつりに協賛して、造形おかざきつ子展を菅生川原で(五日まで)

11・7

「丈夫な子に育てる」三島小研究発表会

11・14

「子どもの表現——その成長と指向」緑丘小教育実践協議会

11・23

第六回岡崎のハーモニーを市民会館で第六回教育文化賞授賞式

11・25

「自己実現をめざす」東海中研究発表会

12・5

「できる学習指導の研究と実践」矢作中研究発表会

12・12

第五回冬季研修会を少年自然の家で(二十六日まで)

12・24

小中学校書き初め展を美術館で

1・17

「子どもの中の学校図書館」藤川小研究発表会

1・26

「よろこんで書く指導」大樹寺小研究発表会

2・9

第二回県芸術文化選奨に、岡崎つ子展・葵中合唱部が入賞

2・15

「自己管理をめざす健康教育」秦梨小研究発表会

2・23



6

⑥ 第一回おかざきまつり

小学校鼓笛隊パレード、中学校プラスバンド、五万石おどりなどの行進を行う。(十一月四日)

⑦ 第六回岡崎のハーモニー

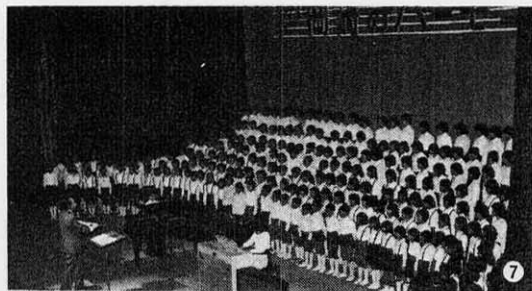
(十一月二十三日)
(十一月二十五日)

⑧ 第五回子どもまつり

(五月五日)
(十一月十四日)



8



7



9

昭和53年度研究発表校の研究動向一覽表

| 発表月日 | 校名 | 分野 | 研究主題 | 研究概要 | 研究資料(研究物・講師・助言者) |
|--------|--------|---------|---|---|---|
| 6月23日 | 甲山中学校 | 全 | 甲山教育課程の創造 | <ul style="list-style-type: none"> 教育課程の精選・集約により生みだされた余裕時間の計画と実践 生徒ひとりひとりが生きる環境の整備と活用 | <ul style="list-style-type: none"> 研究物「甲山教育課程の創造」 講師 細谷俊夫先生 助言者 安彦忠彦先生他4名 資料 53年度カリキュラム、甲山の友他 |
| 7月7日 | 美合小学校 | 国語 | 子どもひとりひとりが読みをつくる授業の追求 —ひとり読み・なかま読みをてだてとして— | 子どもたちが一語一文を丁寧に読み、言葉を大切に、どう考えや思いや感じを高めていくか、ひとり読み、なかま読みを基本過程とした読みをつくる授業の追求 | <ul style="list-style-type: none"> 研究物 <子どもひとりひとりが読みをつくる授業の追求> 助言者 中根 清巳先生他5名 資料 重点教材分析表他2部 |
| 9月29日 | 山中小学校 | 作文 | 書く意欲を高め豊かな表現力を育てる —作文指導— | 書く意欲喚起をどう表現につなげるか、書くための基本となる学習の要素は何か。素材をどう取材選択し、構想して記述・推考させるかと、追求実践した | <ul style="list-style-type: none"> 研究物「研究集録」「実践記録」「実践指導案」「年間計画」 講師 平井昌夫先生 助言者 県教委 中根清巳先生他5名 |
| 11月7日 | 三島小学校 | 体力づくり | 丈夫な子に育てる —やわらかさ・つよさ・がんばり— | <ul style="list-style-type: none"> 体育科としての新学習指導要領移行の研究 総則体育実現をめざす青空タイム、なかよし集会の実践 柔軟体操による柔軟性の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 研究物「丈夫な子に育てる」 資料「体育科 資料」「事例報告」 助言者 美濃部 栄先生 |
| 12月5日 | 東海中学校 | 特別活動 | 自己実現をめざす教育 —マイタイムの活用— | <ul style="list-style-type: none"> 現代中学生の性格と行動からその欠陥を補う為の教育方法の試行としての実践研究 自己実現を目ざした「マイタイム」の活動 | <ul style="list-style-type: none"> 研究物「自己実現をめざす教育」 資料「あゆみ」—マイタイムの記録 講師「姫路工業大学教授 上田 吉一先生 |
| 12月12日 | 矢作中学校 | 全 | できる学習指導の研究と実践 —魅いる学習をめぐして— | 生徒にできる学習を成立させるために、教材の流体化、課題の問題化、基礎学力の定着、できる場の構成と評価の四つの観点から授業の実証的な研究と実践をした | <ul style="list-style-type: none"> 研究物「できる学習指導の研究と実践」 助言者 伊藤四三九氏他26名 資料「できる学習指導の研究と実践」教科編9冊 |
| 1月26日 | 藤川小学校 | 図書館 | 子どもの中の学校 図書館—「学習指導における学校図書館の利用」—社会科学習をとおして | 社会科学習の中で、問題解決の為に図書館の諸資料を求めると能力を養うことにより、学習の進歩と、図書館の充実との相互作用をねらった | <ul style="list-style-type: none"> 研究物「図書館利用の習慣化をめざして—その2・学習指導における学校図書館の利用」 資料「図書館の現況」「藤川小の教師」 |
| 2月9日 | 大樹寺小学校 | 国・社・算・理 | 書きながら学ぶ子どもを育てる | 子ども各自の学習活動を主体的創造的なものとするために、学習の過程に、個人化された書く作業を位置づけ、「書く」活動の有効性を究明する実践研究 | <ul style="list-style-type: none"> 研究物「樹人」 資料「家康」「実験・観察のくふう」「ノートのでびき」 講師 京都大学人文科学研究所教授 多田道太郎先生 |
| 2月23日 | 秦梨小学校 | 保健体育 | 自己管理をめざす健康教育 | 自己管理をめざした、たくましい秦梨っ子の育成を求めて、こどもの自己管理と習慣形成に訴える教育研究の実践と充実をはかる | <ul style="list-style-type: none"> 研究物 自己管理をめざす健康教育 助言者 県指導主事伊与田三吉先生 資料 文集「はだなし」年間保健計画 |



【寄贈刊行物・資料等】

◇ゆとりある岡崎の教育をめざして岡崎市小中学校教職員組合 78年岡崎市の教育白書、B5 判・三四頁。

◇対話の重さ

岡崎市小中学校教職員組合 母と女教師の会議師八重樫克

造形おかざきつ子展・葵中合唱部

第二回愛知県芸術選奨文化奨励賞を受賞

芸術文化の各分野において、新生面をひらき、かつ業績が顕著で、将来を嘱望される団体または学校に贈られる愛知県芸術選奨文化奨励賞は、本年度で第二回目を迎えた。

岡崎市においては、市内公立幼稚園・小学校・中学校の総ての幼児・児童・生徒の造形作品を、一か所に展示し造形美術教育の振興に寄与する業績を挙げている「造形おかざきつ子展」と、全国学校音楽コンクールに出場し、CBC子ども音楽コンクールでは、昭和四十六年以来中部日本決勝大会で七回最優秀校に選ばれるとともに、NHK学校音楽コンクールにおいても東海北陸大会で連続三回の最優秀校に選ばれるなど、歌唱に輝かしい実績を挙げた「葵中学校合唱部」

の二団体を推選したところ両団体そろって入選の報に接した。極めて権威のある受賞の報は、単に両団体の栄にとどまらず、本市の誇りとして喜びたい。表彰式は、来る二月二十四日、愛知会館において、関係校長、指導者、指導生徒代表が参加して行われる。

造形おかざきつ子展は十五年を迎え、葵中合唱部の全国大会出場は八年間に七回と、その努力精進は岡崎の教育史に燦然たるものであり、受賞を機に全市の文化振興が一層充実されることを期待したい。

■岡教組五十四年度役員決まる

去る2月17日の岡教組定期大会及び2月25日の岡教組青婦定期大会で明年度の各役員が次のとおり決まった。

羅氏の講演会記録。B6判・二五頁。

◇文集立志の誓 美川中学校 立志の式に誓う美川中二年生の文集。B判・一五三頁。

◇書写指導 生平小稲葉道彦著 現場で役立つ書写指導者必備の書。A5判・二〇二頁。

▽執行委員長 太田泰永・甲山中▽副委員長 村上信良・根石小▽書記長 熊谷満義・南中▽書記次長 二村邦彦・福岡中

▽組織部長 中村恒夫・三島小▽情宣部長 長谷川晴彦・城北中▽教文部長 中山昌司・矢作中▽福対部長 平野有行・葵中▽調査部長 鈴木忍・美川中▽青年部長 岩月慎二・連尺小▽婦人部長 本多光子・城南小▽会計委員 山田一恵・藤川小▽会計監査 大久保正・岩津中、長坂則彦・大樹寺小

■東海三県学校図書館奨励賞 去る二月五日、東海三県優良

秀校に選ばれた。

図書館の表彰式で、甲山中学校と美合小学校が学校図書館における管理運営が優れているとして総合優秀賞(中日賞)と部門優秀賞をそれぞれ受賞した。 ■CBC音楽コンクール優秀校 五十三年CBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会本校の部において、岡崎小学校と六ツ美北部小学校が合唱及び重唱の部において、それぞれ優秀校に選ばれた。

中学校 陸上・水泳最高記録

●県中学新 ○市中学新

| 性別 | 種目 | 記録 | 氏名 | 校名 | 種目 | 氏名 | 校名 | 記録 |
|----|------------|------------|----------------|---------|------------|-----------------------------|----|-----------|
| 男 | 1年 100m | 12'5 | 松尾 源二 | 城北 | 100m自由形 | 中村 達博 | 葵 | 1-01-2 |
| | 100m | ○ 11'0 | 萩野 竜也 | 葵 | 200m自由形 | 小池 誠 | 誠海 | 2-20-4 |
| | 200m | ○ 22'8 | 萩野 竜也 | 葵 | 400m自由形 | 横山 晴男 | 城北 | ○ 4-51-1 |
| | 800m | ○ 2'04'8 | 柴田 真人 | 常 磐 | 800m自由形 | 小池 誠 | 誠海 | 20-01-7 |
| | 1・2年 1500m | 4'26'2 | 松本 久 | 甲 山 | 100m平 泳 | 石津 隆志 | 矢作 | ● 1-10-3 |
| | 3000m | 9'42'9 | 松本 久 | 甲 山 | 200m平 泳 | 石津 隆志 | 矢作 | ● 2-35-7 |
| | 100mH | 14'1 | 石川 誠司 | 甲 山 | 100m背 泳 | 中村 達博 | 葵 | 1-09-2 |
| | 800mR | ○ 1'35'9 | 長谷川 穠谷 萩野 伊藤 | 葵 | 200m背 泳 | 発知 良介 | 南 | 2-38-2 |
| | 低 400mR | 49'5 | 杉山 榮野 岩附 | 矢 作 | 100m バタフライ | 角谷 守彦 | 甲山 | ○ 1-05-1 |
| | 走 幅 跳 | 6 m 25 | 萩野 竜也 | 葵 | 200m バタフライ | 角谷 守彦 | 甲山 | ○ 2-30-3 |
| 女 | 走 高 跳 | 1 m 78 | 鈴木 健二 | 矢 作 | 200m 個 ノ | 内藤 友彦 | 誠海 | 2-36-4 |
| | 砲 丸 投 | 12m99 | 青山 徹 | 東海 | 400m混泳泳 | 小畑 角谷 近藤 山田 杉浦 林 横山 山田 牧 横山 | 甲山 | 4-42-5 |
| | 三種競技A | 2549 | 啓形 正志 | 常 磐 | 400m継 泳 | 山田 牧 横山 | 城北 | 4-24-8 |
| | 1年 100m | 13'8 | 日比野典榮 | 東海 | 800m継 泳 | 田中 久美 | 甲山 | 9-41-0 |
| | 100m | 13'1 | 前田小百合 | 岩 津 | 100m自由形 | 今泉 陽子 | 東海 | ○ 1-07-1 |
| | 200m | 28'3 | 山下 和江 | 甲 山 | 200m自由形 | 今泉 陽子 | 東海 | ○ 2-27-1 |
| | 800m | 2'31'4 | 沢田喜代美 | 甲 山 | 400m自由形 | 今泉 陽子 | 東海 | ○ 5-0-3 |
| | 80mH | 12'7 | 大塚 幸子 | 六ツ美 | 800m自由形 | 今泉 陽子 | 東海 | ○ 10-26-6 |
| | 400mR | 54'5 | 齊田 加藤 近藤 村越 野本 | 矢 作 六ツ美 | 100m平 泳 | 安田 直美 | 矢作 | ○ 1-24-35 |
| | 低 400mR | 55'7 | 桑子 清水 石川 | 矢 作 | 200m平 泳 | 安田 直美 | 矢作 | 3-03-65 |
| 子 | 走 幅 跳 | 5 m 5 m 17 | 小森 緑 | 矢 作 | 100m背 泳 | 岡本 照子 | 城北 | ○ 1-20-0 |
| | 走 高 跳 | ○ 1 m 61 | 齊田 良美 | 矢 作 | 200m背 泳 | 岡本 照子 | 城北 | ○ 2-52-4 |
| | 砲 丸 投 | 11m68 | 大須賀倫子 | 東海 | 100m バタフライ | 酒井 香江 | 葵 | 1-15-2 |
| | 三種競技A | 2338 | 大須賀倫子 | 東海 | 200m バタフライ | 酒井 香江 | 葵 | 2-50-3 |
| | | | | | 200m 個 ノ | 酒井 香江 | 葵 | ○ 2-50-5 |
| | | | | | 400m混泳泳 | 宮石 天野 神屋 中野 野村 中野 棉民 不破 | 甲山 | ○ 5-20-8 |
| | | | | | 400m継 泳 | | 甲山 | ○ 4-36-9 |

どんどん塚



点

所在地—岡崎市大西町仁田

旧鎌倉街道は、矢作の牧内を通って「下の渡り」で矢作川を渡ると、六名に入る。そして久後崎から明大寺を通って、菅生川の南岸を南東に進み、大西を抜けて、岡から藤川に向う。

今、大西町は宅地造成の真っ盛りで古い街道を偲ぶぶすがなどこにもないが、男川駅の前を東へ、露地のような道を入れて行くと、ブロック塀の根元に岩の一部が見える。

土地の人からこんな話を聞いた。

「このへんは、旧鎌倉街道のわきにあたりますが、むしろ

はこの岩のことをどんどん塚と呼んできました。岩の上にあがって足で踏みつけてやると、ドンドンという音がするんですよ、岩の下は空洞になっているようですね。昔、罪人をここに連れてきて、洞穴の中に閉じ込めて拷問したということですね、蛇や蛙を投げ込んで脅したらしいですね。今は穴の入口もなくなっていますか……」

これを経塚と呼ぶ人もあり、洞にはお経が納めてあるのではないかとも言われている。

●カット

竜海中 山本光昭

この本を

- | | |
|----------------|-------|
| ① ことばの作法 | 外山滋比古 |
| ダイヤモンド社 | ¥ 980 |
| ② 法隆寺を支えた木小原二郎 | 西岡常一 |
| NHKブックス | ¥ 600 |
| ③ 小説神谷正太郎売り | 松山善三 |
| 潮出版社 | ¥ 980 |
| ④ 私の小学校留学記 | 武田忠 |
| NHKブックス | ¥ 650 |

53年度月報編集委員

月報第59号から70号までの編集担当者は次のとおり。

- | | |
|--------|--------|
| ・権田 梅芳 | (連尺小長) |
| ・大野 洋鵬 | (岡崎小長) |
| ・宇佐美利郎 | (葵中頭) |
| ・和田 昭夫 | (六北小頭) |
| ・柴田 鎧三 | (大門小) |
| ・高橋 岩雄 | (甲山中) |
| ・大山 紇司 | (羽根小) |
| ・嶋田 稔 | (城北中) |
| ・加藤 憲尚 | (福岡小) |
| ・岩月 健 | (広幡小) |
| ・牧内 映雄 | (福岡中) |
| ・竹内 昭次 | (六名小) |
| ・金子 一元 | (竜美丘小) |
| ・清水 弥生 | (根石小) |
| ・山田 一恵 | (藤川小) |

シオシア

スプリング・ハズ・カム——今年の冬は百年來の暖かさだという。

新米の編集子の長く、短い一年が過ぎようとしている。

月一回の編集会議が近づく度に、新しい知恵をしばって原稿用紙に向う。辛く、楽しい時間であった。

先輩の腰巾着で取材に出かけたり、見よう見まねで割付けをしたり、未経験の仕事が、活力を与えてくれた。

「あっちむいてほしい。こっち向いてほしい。」子どもも大人も無邪気なものである。かと思つと一方では理解に苦しむ悲慘な報道が流れる。

自分の利益、立場のみを主張し、周囲をかえりみない生き方の反省がその度に評価される。言うは易い。実行型の人づくりの主役は……。私そしてあなた。

二月のある日、「おいぬごじやないか」と、上半身はだかで体育をやった。「ちよつとあの先生、この暖かさが狂ったんじゃないの。」くそっ。いけないことを連想するのは悪いヤツ、マジメなことを考えるのはロマンチストなり。